

参加無料

新時代の創造的な ソーシャルワークを求めて

～対象を選別しない生活困窮者支援の現場から～

日本のこれまでの社会保障や社会福祉では、限られた予算の中で支援対象を選別し限定する政策がとられてきました。支援の対象とならない生活困窮者は増加し、昨今、生活困窮者は中高年層だけに限らず、若年層や外国人労働者へも広がりを見せています。

今回、「下流老人」等の著書で有名な藤田孝典氏をお招きしご講演いただきます。生活困窮者支援の現場から見えてくる社会の現状と、現代社会で求められる地域づくりやソーシャルワーク実践のあり方についてお話しをいただきます。

自分たちのソーシャルワーク実践を振り返り、今後の実践に活用できるよう、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。皆様ふるってご参加ください。

講師

藤田 孝典 氏

日時

平成 29年 2/19 (日)

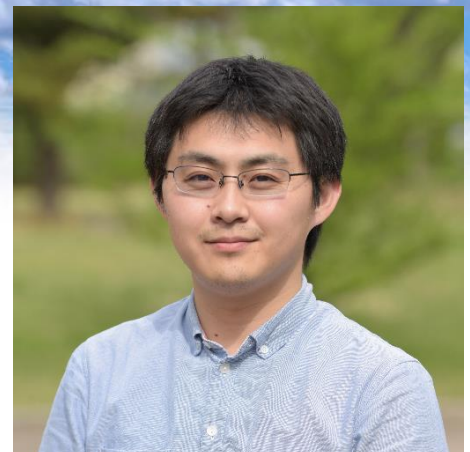
13時30分～16時30分
(13時開場)

会場

ビッグアイ7階 市民交流プラザ大会議室
(郡山市駅前二丁目 11-1 TEL024-922-5544)

主催 福島県医療ソーシャルワーカー協会

事務局：福島県いわき市内郷高坂町四方木田 155 榎葉ときわ苑内 TEL 0246-27-1117



1982年生まれ。埼玉県越谷市在住。社会福祉士。首都圏で生活困窮者支援を行うソーシャルワーカー。生活保護や生活困窮者支援の在り方に関する活動と提言を行う。NPO法人ほっとプラス代表理事。聖学院大学客員准教授（公的扶助論など）。反貧困ネットワーク埼玉代表。ブラック企業対策プロジェクト共同代表。厚生労働省社会保障審議会特別部会委員。著書に『貧困世代 社会の監獄に閉じ込められた若者たち』（講談社現代新書 2016）『下流老人 一億総老後崩壊の衝撃』（朝日新聞出版 2015）『ひとりも殺させない』（堀之内出版 2013）共著に『知りたい！ソーシャルワーカーの仕事』（岩波書店 2015）など多数。

医療ソーシャルワーカーとは、保健医療機関において、社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行います。具体的には、経済的問題の解決調整援助、療養中の心理的・社会的問題の解決調整援助、受診・受療援助、退院（社会復帰）援助などを、患者さんの主体性やプライバシーの尊重を重視しつつ行っています。